

令和6年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」（「教員枠」としての返還免除）について

I 申請資格

教職大学院に在学し、教員採用選考試験（※1）に合格、教職大学院修了の翌年度から正規教員として採用される予定の者（※2）でかつ特に優れた業績を挙げたと認められる者は「教員枠」として返還免除（以下「教員免除」という。）の申請ができます。「教員枠」の要件を満たしたものは教員免除が認定され、大学院在籍時に貸与を受けた第一種奨学金は全額免除となります。

※1 公立学校の教員採用選考だけでなく、国・私立学校等の採用を含みます。また、対象となる学校種は以下のとおりです。

対象となる学校種
・学校教育法第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校 ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条 第7項に規定する幼保連携型認定こども園

※2 学部や大学院在籍時に、教員採用選考等に合格し、大学院修了まで採用延期制度等により在籍する者を含みます。大学院修了後（既卒者として）に正規教員の採用内定を得た場合は返還免除の対象となりません。また、臨時的任用の者や非常勤講師は対象者に含まれません。

II 申請の前に

- リレー口座への加入手続きが完了していない人は、直ちに手続きを行ってください。手続きが完了していない場合は、申請を受け付けません。
- 必ず、「返還のてびき（日本学生支援機構 HP からダウンロード）」29 ページ記載「(3) 大学院第一種奨学金の特に優れた業績による返還免除」及び、配付資料「日本学生支援機構大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」推薦にかかる業績の評価項目及び評価基準」（以下「評価項目及び評価基準」と記載）をよく読んでください。
- 申請にあたっては、事前に指導教員に相談をしてください。
- 申請書類提出は、1月14日（火）午後5時までに提出ください。後日こちらで内容を確認後、申請書類データを電子ファイルにて送付いただきます。

III 申請書類

① 【教員免除用】業績優秀者返還免除申請書【様式 1-B】	1 部（担当課で内容を確認後、EXCEL あるいは PDF データの提供を求めます。） ※パソコン等を使用して作成しても構いません。 ※「申請書の記入方法」を参照し、記入してください。 ※貸与期間中に、現在所属する課程であげた業績が対象です。 ※専攻分野に関連しない業績は記入しないでください。 ※②の資料が提出できるもののみ記入してください。ただし、掲載予定の論文等、3 月末までに資料が提出できるものは、見込で記入し後日資料を提出しても構いません。
②業績を証明する資料	1 部（担当課で内容を確認後、電子データの提供を求めます。） ※データの拡張子は以下のものとしてください。 (pdf, docx, xlsx, pptx, ods, odt, gif, jpg, png) ※書類をまとめる時はホチキスの使用は不可（クリップ等は可）。 ※業績一覧表に記載した業績を証明する資料を添付してください。 (各業績に添付する資料については、「（参考）業績を証明する資料について」を参照してください。)

③大学院における成績証明書 (松江キャンパスの学生) 令和6年度前期までの成績 (出雲キャンパスの学生) 令和5年度までの成績	原本1部(電子データは不要です。) ※令和6年度後期までの成績証明書については、後日大学で代理発行し、日本学生支援機構へ送付します。大学による代理発行に同意しない方は、「成績証明書の代理発行に対する不同意書」(用紙は学生支援課(医学部学務課)にあります。)を提出し、後期の成績通知後に自身で成績証明書を取得して学生支援課へ提出してください。「成績証明書の代理発行に対する不同意書」を提出しなかった人については、同意したものとして取り扱います。
④指導教員等の推薦理由	原本1部(指導教員が記入後は、厳封のうえ、他の申請書類とともに提出してください。なお、指導教員から直接学内便等で送付いただいてもかまいません。)(電子データは不要です。) ※パソコン等を使用して作成しても構いませんが、 <u>指導教員名欄は必ず自署が必要</u> であることを指導教員に伝えてください。
⑤教員採用選考試験の合格通知書の写し	教員免除を申請する場合は必要です。
⑥採用猶予等通知の写し【該当者のみ】	各都道府県教育委員会等が発行する採用の猶予を認める通知です。大学院修了まで採用延期制度の適用を受けている場合は提出が必要です。
⑦在職証明書の写し	2025年4月1日時点で正規教員として在職していることがわかる在職証明書の提出が必要です。大学院終了後、4月18日(金)までに ssd-shogakukin@office.shimane-u.ac.jp (■を@に変えてください。) お送りください。

※申請書類がダウンロードできない人、印刷できない人については、学生支援課(医学部学務課)でお渡ししますので、窓口へ相談してください。

IV 申請スケジュール

12月17日(火)～ 申請書類配付

※申請書類は、ホームページ・Moodle上に掲載します。ダウンロードして使用してください。
※各研究科の「評価項目及び評価基準」のみ、窓口で配付します。必ず取りに来てください。

1月14日(火)午後5時 申請書類提出締切(申請者⇒学生支援課または医学部学務課)

※申請書類を全て、学生支援課奨学支援グループ(出雲キャンパスの学生は医学部学務課)窓口へ提出してください。

上記の締切終了後は一切申請を受け付けません。

1月中旬 電子データの提出

提出いただいた書類について内容を確認します。内容についての問い合わせを電話や学生番号のメールへ行いますので、確認をお願いします。(メールについては返信を、電話については出られるようにしてください。また電話を受けることができなかった場合は、すぐに折り返し電話をしてください。)
こちらで内容確認後、申請書類データを電子ファイルにて送付いただきます。

2月上旬～3月中旬 選考期間

研究科での選考を経て、島根大学大学院日本学生支援機構学資金返還免除候補者学内選考委員会が返還免除候補者を決定します。

4月18日（金） 在職証明書の写しの提出〆切

在職証明書の写しをデータで添付で [ssd-shogakukin■office.shimane-u.ac.jp](mailto:ssd-shogakukin@office.shimane-u.ac.jp)（■を@に変えてください。）にお送りください。※期日に間に合わない場合は事前にご連絡下さい。本学が日本学生支援機構に推薦する時点で提出がない場合は、推薦することができません。

4月下旬 学内選考結果を指導教員に通知

指導教員から申請者へ通知があります。

4月下旬～ 5月中旬 日本学生支援機構へ推薦

大学が推薦した返還免除候補者を日本学生支援機構が審査し、返還免除者を決定します。

7月下旬 日本学生支援機構から本人宛てに結果を通知

V その他

原則として「教員枠」として学校が推薦した後に通常の返還免除の候補者としての推薦に変更することはできません。また、一度「教員枠」で推薦した後に、4月1日現在の在職証明書の写しが提出されない場合又は業績免除認定（6月）までに学校から「教員枠」の推薦要件を満たしていなかった旨の報告があった場合、教員免除の認定を受けることはできず、通常の返還免除の候補者として改めて推薦することもできません。

不足書類等の不備があった場合は、電話にて連絡をします。下記の電話番号を登録し、必ず出られるようにしてください。また、電話を受けることができなかった場合は、すぐに折り返し電話をしてください。

問い合わせ先

松江キャンパス：〒690-8504 松江市西川津町 1060

学生支援課 奨学支援グループ（学生支援センター2 階）

TEL : 0852-32-6063、6223

Email : [ssd-shogakukin■office.shimane-u.ac.jp](mailto:ssd-shogakukin@office.shimane-u.ac.jp)
■を@に変えてください。

出雲キャンパス：〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1

医学部学務課

TEL : 0853-20-2084